

## 平成31年度 入学式

2019年4月9日（火）

今日は平成31年度の入学式です。そして、平成最後の入学式です。

238名の新入生の皆さんこれから3年間、おおいに高校生活を謳歌して下さい！！



\*\*\*\*\*

・・・式辞から・・・

今、季節は春の盛りですが、春の始まる頃を「木の芽時<sup>このめどき</sup>」と言うそうです。木々が一齐に芽を出し、春の開幕を告げる時期という意味です。この時期、木々は、まず、枝の先に小さな芽を出し、徐々に大きく膨らませていきます。国語学者の金田一春彦<sup>きんたいいちはるひこ</sup>先生によれば、この状態を昔の人は、「芽ぐむ」、そして「芽ばる」と呼んだそうです。さらに、遠くから見て梢全体ががオッと青みを帯び、力強い息吹が感じられるようになると、「芽吹く」と呼びました。「芽吹く」の段階は、枝が東の方に伸びようか、西の方に伸びようかと思いついて悩んでいるように見えます。そして、一度その方向が決まるとそのまま勢いよく成長していきます。

高校時代は、まさにこの「芽吹く」の時期と同じように、将来の進むべき道を決め、勢いよく伸び始めようとする時期だと思います。皆さんには、これから始まる高校時代を「芽吹く」の時期にしたいと思っています。

では、どう伸びていくのでしょうか。その答えは自分自身の中にあります。人は誰でも、自分でも気付いていないような素晴らしい個性や才能をもっています。高校時代は、勢いのある時期だからこそ、勉強、学校行事、部活動など何事にも積極的にチャレンジしながら、自分の個性や才能を発見し、それを精一杯生かす努力をしていただきたいと思います。木の芽時の皆さんには、下館二高で立派に「芽吹き」を実現することを願っています。「芽吹き」は人それぞれに早い遅い、大きい小さいの違いはありますが、それぞれに自分を生かし、勢いよく伸びてほしいと思います。